# 序

徳島県果樹試験場長　井内忠明

果樹試験場県北分場は昭和23年4月徳島県農事試験場大山果樹試験地として発足，8年後の昭和30年7月には農事試験場より移管を受け果樹試験場上板分場に改称し，本県果樹に関する試験研究業務に取り組んで参りました。

発足以来今日までの半世紀にわたり，幾多の変遷をたどりながら数多くの新しい技術の開発や生産の効率化のため研究成果をあげ，地域の果樹農業の振興と発展に寄与してきたところであります。

21世紀を目前にした社会の流れは本格的な規制緩和の時代を迎えております。農業分野においても市場原理に基づく経済的合理性の追求による生き残りをかけた展開が一段と加速されてきております。ことに，今日の果樹農業を取り巻く環境は国際化の進展に伴う輸入果実の増加，食生活の多様化に伴う果実消費量の減退，バブル崩壊後の不況による価格低落等かつて経験したことのない厳しい状況下に置かれております。

このような状況を踏まえ県北分場においては21世紀の果樹農業に課せられた「高品質」「省力」「低コスト」「安全性」のキーワードをクリアするために，本県果樹農業の展開方向に沿って，現場に直結した新品種の育成・改良や画期的な生産技術の開発に努力を重ねているところであります。

このたび，果樹に関する研究業務開始50年の歴史を記念するに当たり，これまでの輝かしい業績を築き上げられ得た先輩各位に対しまして心からの敬意を表しますとともに，今後とも皆様方のご理解と御協力を得て現場ニーズに即した利用度の高い研究成果の達成に心から期待するものである。

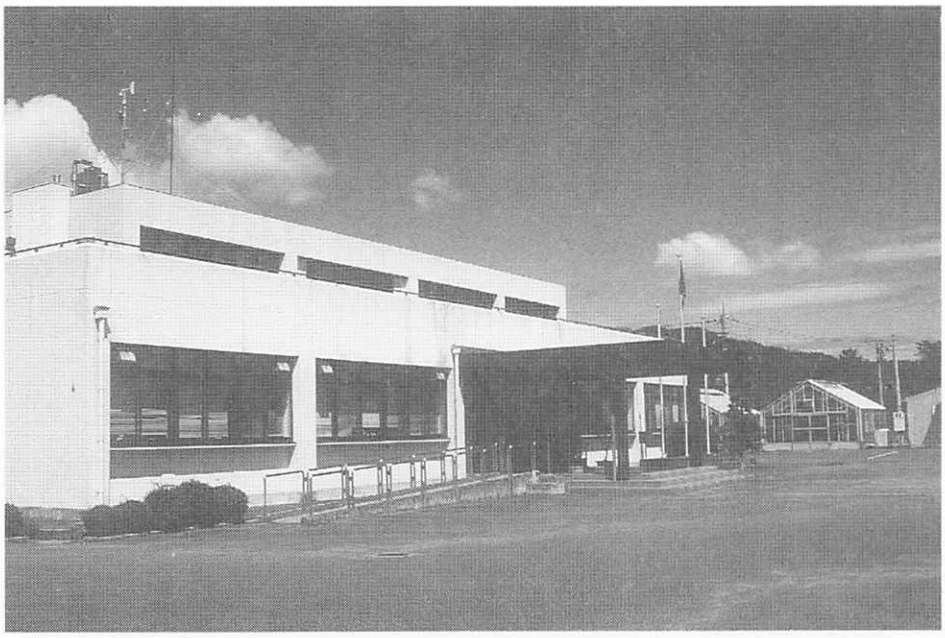
# 発行のことば

県北分場長　赤井昭雄

県北分場は昭和23年の農事試験場大山果樹試験地の誕生から半世紀の歴史を築いてきました。その間昭和30年に果樹試験場設立とともに上板分場となり，機構改革により昭和58年に岩倉母樹園の統合で県北分場と名前の移り変わりはありますが，県下の落葉果樹と県北地域の常緑果樹栽培農家の方々とのつながりを重視することで地域の果樹振興の先導の役割を努めてきました。

昭和54年には「上板分場30年のあゆみ」を刊行しましたが，その後，昭和59～61年の県北分場整備計画で，ほ場改良や研究・管理棟の新築による試験研究環境の整備にともない，分場の姿も大きく変わりました。この際，ここまで歩んできた足跡をふりかえり，これまでの成果をまとめることで今後の研究発展の一助となればと小誌を発行しました。

今後の研究が県下果樹農家のお役に立ちたいと思っています。皆様の御指導と御支援をお願い申し上げます。



## 研　究　体　制

県北分場長
- 落葉果樹科（5名）
- 母樹品種科（2名）
- 保護環境科（2名）

## 現 在 の 職 員　（平成10年3月）

# 県北分場の沿革

昭和９年８月　中川新作氏に農林省から耕地の拡張と農村不況打開のため，開墾の通達が下る
９年11月　中川新作氏開墾に着手
全国各地から柿の品種50余種を取り寄せ接木する
10年６月　開墾を終了
23年２月　農地開放によって開墾した園地のほとんどは，農林省へ移管される
23年２月　県議会において農事試験場大山果樹試験地として発足することを上程し可決される
23年４月　徳島県農事試験場大山果樹試験地として発足
事務室兼物置15坪設置される
４月　下楠　章初代大山果樹試験地主任となる
26年５月　前田　知２代大山果樹試験地主任となる
28年２月　ブドウ植付（デラウェア短梢園）
30年７月　農事試験場より大山果樹試験地の移管を受け，果樹試験場上板分場と称す
７月　前田　知初代分場長となる
33年２月　揚水施設ダイナポンプ完工
33年10月　上板分場本館（研究室及び事務室）落成
34年２月　吊棚ブドウ植付（デラウェア長梢園）
34年２月　梨長十郎植付
38年３月　軽四輪自動車配備される
39年３月　果樹園経営技術者研修館（阿讃講堂）完成
40年３月　ミカン園開園植付
40年５月　気象観測開始
41年４月　農業大学校発足
練習生制度廃止果樹分校となる
42年11月　小型四輪貨物車配備される
軽四輪自動車廃車
44年２月　自動車車庫完成
44年４月　黒上九三郎２代分場長となる
45年１月　加温ブドウハウス園設置試験開始
45年２月　垣根梨園開設試験開始（30ａ）
45年６月　スピードスプレヤー配備される　昭信Ｂ－１型800㍑
46年３月　ナシ防除と施肥のスプリンクラー実験施設完成
46年３月　本館実験室増築
46年12月　トラクター配備される　シバウラ1100型
47年３月　天敵利用促進事業によりベダリヤテントウムシ飼育室完成
47年９月　トラクターアッタチメント（ブロードキャスター，カルチベーター，ディスクハロー）配備される
48年９月　農薬保管庫設置される
49年７月　農業気象観測用自記観測装置設置される

49年11月　農機具車庫及び作業室完成
50年４月　中川正視３代分場長となる
51年１月　大型草刈機フレルモア配備される
51年１月　トラクター配備される　シバウラ1500型
51年３月　スピードスプレヤー配備される　昭信400㍑型
52年４月　温州ミカン園をスダチに改植（10ａ）
53年８月　基幹農道工事始まる
54年２月　スモモ，キウイフルーツ園造成植付
54年３月　「上板分場30年のあゆみ」刊行
54年４月　賀川　実４代分場長となる
58年４月　岩倉母樹園を上板分場に統合し，県北分場として発足
　　岩倉母樹園は県北分場岩倉ほ場と改称
58年４月　県北分場整備計画策定班会で計画し整備計画検討委員会にて検討
59年９月　県教育委員会から板野高校農業科実習地を県北分場板野ほ場として所管換え
59年９月　スピードスプレヤー配備される　昭信1000㍑型
59年10月　県北分場用地造成工事起工
59年11月　県北分場本館設計委託
60年１月　県北分場新植苗木委託
60年２月　板野ほ場へ岩倉ほ場母樹移転開始
60年３月　県北分場用地造成工事竣立
60年７月　県北分場本館新築工事竣工
61年２月　吉野川北岸農業用水の分水開始
61年３月　農業気象観測用自記観測装置設置される
61年３月　母樹を板野ほ場に移植し岩倉ほ場閉鎖
61年４月　警備業務委託
61年９月　県北分場付属建物建築及びほ場整備工事起工
62年１月　トラクター配備される　日の本低床 JF ー1型
62年２月　ほ場果樹棚設置（ナシ，ブドウ他）
62年３月　県北分場付属建物及びほ場整備工事竣工
62年３月　「岩倉母樹園の四半世紀」刊行
62年４月　大和浩国５代分場長となる
62年４月　県北分場に落葉果樹科，母樹品種科，保護環境科が新設される
62年５月　県北分場改築落成式行われる
63年７月　スピードスプレアー配備される　昭信500㍑型
平成元年１月　ナシハウス設置
元年４月　和田英雄６代分場長となる
２年４月　定作　昭７代分場長となる
３年４月　柴田精治８代分場長となる
４年２月　カキハウス設置

5年10月　第48回国民体育大会東四国大会でスダチの飾花事業に参加し，秋季に濃緑の果実や純白の花を展示

5年11月　ブドウハウス設置

6年4月　赤井昭雄9代分場長となる

6年6月　カキハウス細霧装置設置

7年5月　水道加圧給水槽装置設置

9年1月　ナシ暗渠排水設備設置

9年1月　ブドウ棚設置

10年1月　カンキツハウス設置

# 果樹試験場県北分場改築工事の竣工にあたって

徳島県知事　三　木　申　三

このたび，待望の県北分場改築工事が竣工いたしました。

当県北分場は，昭和23年に農事試験場大山果樹試験地として発足して以来，県北地域の果樹農業の中核として果樹栽培の技術開発及び普及に大きく寄与してまいったところであります。

近年，果樹農業を取り巻く社会情勢も大きく変ぼうし，果実の消費動向が多様化，高級化する中で，外国産果実の輸入増加等誠に厳しい状況下にあります。更には，吉野川北岸農業水利事業並びに農用地開発事業において果樹類の開園が進んでおり，今後は有効な水の利用技術の開発及び新規導入作物の定着化等収益性の高い農業経営のための技術確立が望まれているところであります。

県といたしましても，この様な要望にこたえるためには，従来の狭隘で老朽化した施設では十分な対応ができないことから，関係各位の御賛同をいただき，昭和59年４月に起工し，３ヶ年の工期と２億２千万円余の経費を要し，竣工の運びとなったものであります。

ここに関係各位のご支援とご協力に対しまして深く感謝の意を表する次第であります。

今回完成いたしました当分場は，本館には農家相談室を始め各種研究室を，更に管理棟ガラス室等を備えております。今後は施設の有効な利用により，名実ともに県北地域の果樹農業技術開発の拠点としての役割を果たすよう努力してまいりたいと考えておりますのでなお一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。

昭和62年５月13日

## 果樹試験場県北分場整備事業の概要

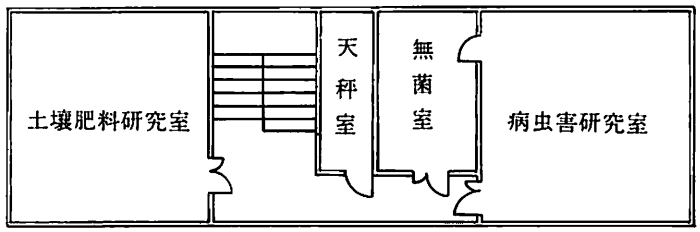
（単位：千円）

| 年度／区分 | 59 | | 60 | | 61 | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 摘要 | 金額 | 摘要 | 金額 | 摘要 | 金額 | |
| ほ場 | ほ場整備（1 ha）<br>苗木購入<br>母樹移転 | 10,600<br>1,550<br>1,900 | ほ場整備<br>苗木購入 | 840<br>560 | ほ場整備（1 ha） | 26,611 | 42,061 |
| 建物 | 本館設計委託<br>事務費 | 3,370<br>2,250 | 本館建設(640㎡)<br>事務費 | 120,000<br>1,300 | 附属建物建設(427㎡)<br>備品(研究，庁用)<br>事務費 | 36,469<br>13,380<br>2,540 | 179,309 |
| 合計 | | 19,670 | | 122,700 | | 79,000 | 221,370 |

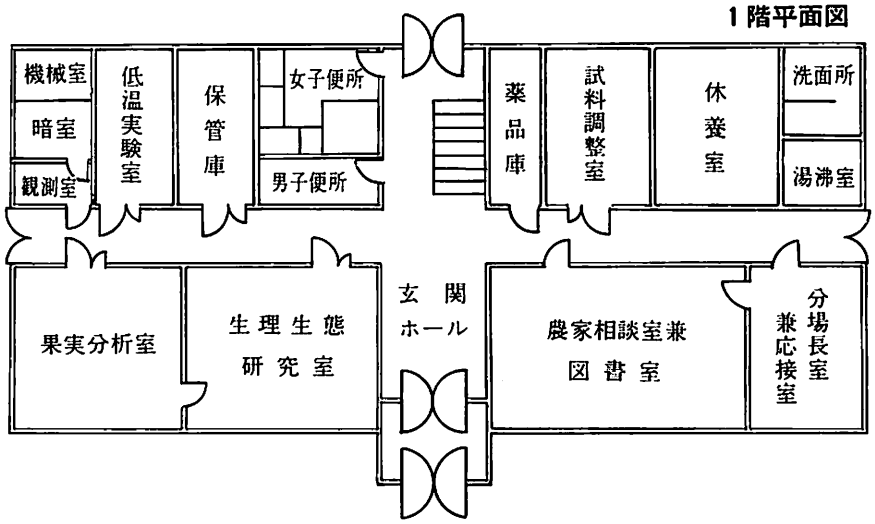
## 本館及び管理棟配置図

### ◎本館配置図

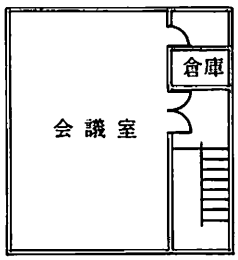
2階平面図




1階平面図

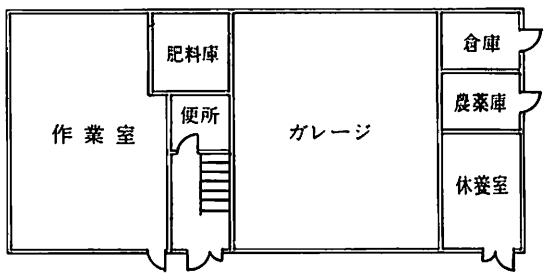



### ◎管理棟配置図




2階平面図

1階平面図




## 新規購入備品

| | | |
|---|---|---|
| 原子吸光分光光度計 | 人工気象装置 | 気象観測及びデーター処理システム |
| ガスクロマトグラフィー | 低温恒温室 | 温室用ヒートポンプ |
| 色差計 | 温度勾配恒温器 | 電子上皿天秤 |
| 糖酸分析装置 | クリーンベンチ | 超音波洗浄装置 |
| 高速振動試料粉砕機 | 落射蛍光顕微鏡 | 小型重量選別機 |

# 職　員　名　簿

(1)　旧職員

| 氏　　名 | 在　　職　　期　　間 |
|---|---|
| 下楠　　章 | 昭和23年４月１日～昭和26年４月30日 |
| 鈴江　　昇 | 昭和23年10月１日～昭和24年３月31日 |
| 桑城　　学 | 昭和23年５月５日～昭和27年８月１日 |
| 多田　良行 | 昭和23年５月５日～昭和43年３月31日 |
| 阿部　元七 | 昭和23年５月23日～昭和28年５月10日 |
| 村上信太郎 | 昭和23年５月24日～昭和36年３月31日 |
| 須藤　真平 | 昭和23年６月20日～昭和23年10月31日 |
| 柏木弥太郎 | 昭和24年５月１日～昭和25年３月31日 |
| 犬伏　利治 | 昭和27年６月20日～昭和27年９月30日 |
| 前田　　知 | 昭和27年９月15日～昭和44年３月31日 |
| 吉岡　正八 | 昭和27年11月15日～昭和29年８月31日 |
| 城浦　治男 | 昭和28年９月１日～昭和48年３月31日 |
| 脇川　勝美 | 昭和36年４月１日～昭和54年３月31日 |
| 谷　　明一 | 昭和36年４月１日～昭和49年３月31日 |
| 福居　幸治 | 昭和36年６月１日～昭和41年３月31日 |
| 定作　　昭 | 昭和38年４月１日～平成３年３月31日 |
| 上田慶次郎 | 昭和38年４月１日～平成３年３月31日 |
| 行成　正昭 | 昭和41年４月１日～昭和54年３月31日 |
| 黒上九三郎 | 昭和44年４月１日～昭和50年３月31日 |
| 柴田　精治 | 昭和45年４月１日～昭和54年３月31日<br>昭和61年４月１日～平成６年３月31日 |
| 酒井　正勝 | 昭和50年４月１日～昭和54年３月31日 |

| 氏　　名 | 在　　職　　期　　間 |
|---|---|
| 中川　正視 | 昭和50年４月１日～昭和54年３月31日 |
| 福田　英治 | 昭和52年４月１日～昭和53年３月31日 |
| 賀川　　実 | 昭和54年４月１日～昭和62年３月31日 |
| 中島　光廣 | 昭和54年４月１日～昭和58年３月31日 |
| 田辺　　弘 | 昭和54年４月１日～昭和58年３月31日 |
| 辻　　雅人 | 昭和56年４月１日～昭和57年３月31日 |
| 柴田　好文 | 昭和56年４月１日～昭和61年３月31日 |
| 麻植　正一 | 昭和58年４月１日～昭和59年３月31日 |
| 森　　聡 | 昭和58年４月１日～昭和60年３月31日 |
| 板東　克好 | 昭和59年４月１日～昭和61年３月31日 |
| 清水　　昇 | 昭和60年４月１日～昭和63年３月31日 |
| 大和　浩国 | 昭和62年４月１日～平成元年３月31日 |
| 音井　　格 | 昭和62年４月１日～平成元年３月31日 |
| 山尾　正実 | 昭和63年４月１日～平成元年３月31日<br>平成２年４月１日～平成７年３月31日 |
| 和田　英雄 | 平成元年４月１日～平成２年３月31日 |
| 山下　　浩 | 平成元年４月１日～平成３年３月31日 |
| 松家　義克 | 平成元年４月１日～平成４年３月31日 |
| 長谷部秀明 | 平成３年４月１日～平成４年３月31日 |
| 三木　　晃 | 平成４年４月１日～平成７年３月31日 |
| 佐尾山祥史 | 平成４年４月１日～平成８年３月31日 |

(2) 現職員

| 氏　　名 | 在　職　期　間 |
|---|---|
| 村上　　來 | 昭和36年４月１日～ |
| 藤田　和男 | 昭和43年４月１日～ |
| 赤井　昭雄 | 昭和49年４月１日～平成元年３月31日<br>平成４年４月１日～ |
| 小池　　明 | 昭和59年４月１日～平成４年３月31日<br>平成７年４月１日～ |
| 徳永　忠士 | 平成３年10月1日～ |
| 以西　一史 | 平成４年４月１日～ |
| 福田　雅仁 | 平成６年４月１日～ |
| 平瀬　早苗 | 平成７年４月１日～ |
| 竹中　美香 | 平成７年４月15日～ |
| 板東　成治 | 平成８年４月15日～ |